

株式会社
しがぎん経済文化センター社長



指揮者・びわ湖ホール芸術監督

中川 浩 × 沼尻竜典



今年で31年目を迎える「KEIBUN第九2015」は、指揮者にびわ湖ホール芸術監督の沼尻竜典氏を迎える。2013年からドイツのリューベック歌劇場音楽総監督も務め、この8月にびわ湖ホールで指揮するオペラ「竹取物語」は作曲と台本も自ら手がけた。「第九」の指揮経験も豊富だ。多彩な活動と滋賀県での文化創造についてたっぷり語っていただいた。

(3月5日 びわ湖ホールにて取材)

club keibun 7
2015 JULY vol.394

Contents

- Special 対談
指揮者・びわ湖ホール芸術監督 沼尻竜典
X
株式会社しがぎん経済文化センター社長 中川 浩
- 01 WALK ON 伝統と歴史の舞台を歩く
清林パーク 大津市
- 05 春らしの中に滋賀の風
06 普段使いにしたい
涼を感じる黒壁ガラス
- KEIBUN友の会会員特典のご案内
07 イベント／シネマ／アート／スポーツ／ゴルフ／
旅行／レジャー／健康／カルチャー／グルメ
- 25 プレゼント／Reader's Letters

●表紙【Amazing! Museum～感動空間への招待⑦】
ニューカールスベア美術館(デンマーク)

コペンハーゲンのチボリ公園の南にある美術館。ゴーギャン、モネ、ゴッホなど著名な画家たちの作品のほか、エジプト、メソポタミア、ローマ、ギリシャなどの古代文明にスポットを当てた彫刻のコレクションが充実している。



Profile
沼尻竜典

1990年第40回ブサンソン国際指揮者コンクール優勝。日本国内の全てのプロオーケストラに加え、ロンドン響、モントリオール響、シドニー響、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、ベルリン・ドイツ響、デュッセルドルフ響、トゥルース・キャピトル管、パリ室内管等多くのオーケストラを指揮。オペラ指揮者としては1997年(後宮からの誘拐)でデビュー以後、ケルン、ミュンヘン、ベルリン、新国立劇場をはじめ国内外の劇場で指揮。さらに2007年よりびわ湖ホール第2代芸術監督に就任。数々のプロダクションを成功に導いている。現在、びわ湖ホール芸術監督、トワキョウ・モーツアルト・プレイヤーズ音楽監督、リューベック歌劇場音楽総監督。

「KEIBUN第九」は 新たなステージへ!

～自作のオペラ「竹取物語」を舞台上演
びわ湖ホール芸術監督・沼尻竜典氏が登場!～

沼尻 竜典

指揮者・びわ湖ホール芸術監督



中川 浩

株式会社しがぎん経済文化センター社長



いろいろな世代と一緒に
歌えるのが「第九」の良さ

沼尻 ● 小さい頃からピアノをやっていますが、それには育たれた環境からでどうか。

中川 ● 指揮に加えて作曲、オペラの台本、ときにはピアノ演奏と沼尻さんの音楽活動は非常に多岐にわたっていますが、それでは育たれた環境からでどうか。

中川 ● 小さい頃からピアノをやっていますが、ピアノだけを弾くピアニストには絶対に手をかけて作っていた時代なので、5人の求婚者の登場する場面には、ドリフターズやクレージーキャッツをイメージした部分も入れています。

中川 ● 指揮に加えて作曲、オペラの台本、ときにはピアノ演奏と沼尻さんの音楽活動は非常に多岐にわたっていますが、それでは育たれた環境からでどうか。

沼尻 ● 同じ「監督」でも劇場によって役割が違います。びわ湖ホールではオペラやコンサート、演劇、バレエなど公演全般に対するアドバイスをしています。また、専属の「びわ湖ホール声楽アンサンブル」の監修も大事な仕事です。

リューベックではオーケストラと合唱団、一部のソロ歌手が劇場専属なので守備範囲がさらに広くなります。地域の顔としての役割も多く求められていて、例えば、世界的有名なリューベック音楽大学との合同演奏会の企画などもしています。リューベック歌劇場はいくつものオペラを毎日入れ替え

対になるまいと思っていました。作曲家を目指した時期もありましたが、ベートーヴェンや Brahms がすでにいっぱい良い曲を書いているし、孤独な時間にも耐えられないで(笑)指揮者になりました。

中川 ● びわ湖ホールの「竹取物語」は、しがぎん経済文化センターも協力事業としてしっかりと応援させていただきます。

中川 ● 沼尻さんは12月26日、びわ湖ホールでの「KEIBUN第九」に指揮者としてご登場いただきます。公募の市民合唱団が大阪フィルハーモニー交響曲第九番を演奏するこの企画は「地域貢献を音楽から」と始めたもので、当社のクラシック事業の柱の一つです。今年は31回目であり、沼尻さんをお迎えして新たなステージを作りたいと思っておりますが、沼尻さんにとっての「第九」とは? 沼尻 ● 合唱をやっていた小学生の頃、ソプラノ

中川 ● 沼尻さんは世代の継承をうまくやってほしい。最近、次世代へのバトンタッチがうまくいかず、高齢化で消滅してしまう合唱団もあるのがとても残念です。いろいろな世代と一緒に歌ってもらえるのが「第九」の良さです

沼尻 ● 世代の継承をうまくやってほしい。沼尻 ● 声さえ出れば何歳でも大丈夫ですが、高い音が多いので、世代を問わず发声の基礎はしっかりとやっておく必要があります。でないとノドを痛めてしましますから。

中川 ● 参加年齢に上限はありますか?

沼尻 ● 声さえ出れば何歳でも大丈夫ですが、高い音が多いので、世代を問わず发声の基礎はしっかりとやっておく必要があります。でないとノドを痛めてしましますから。

中川 ● 参加年齢に上限はありますか?

沼尻 ● 声さえ出れば何歳でも大丈夫ですが、高い音が多いので、世代を問わず发声の基礎はしっかりとやっておく必要があります。でないとノドを痛めてしましますから。

沼尻 ● やはり、かぐや姫が月に帰る場面ですね。それから姫と帝のプラトニックな愛。 プチーニのオペラのようにねちっこい恋愛ではないので、繊細な愛情のニュアンスをうまく出すのが作曲家としての課題でした。 音楽はみなさんが身構えるような「難解な現代音楽」ではないので、安心して聴いてか?

中川 ● 8月にびわ湖ホールで自身が作曲し、台本も手がけられたオペラ「竹取物語」を指揮されます。なぜ「竹取物語」という題材をお選びになったのですか?

沼尻 ● やはり、かぐや姫が月に帰る場面ですね。それから姫と帝のプラトニックな愛。 プチーニのオペラのようにねちっこい恋愛ではないので、繊細な愛情のニュアンスをうまく出すのが作曲家としての課題でした。 音楽はみなさんが身構えるような「難解な現代音楽」ではないので、安心して聴いて

て決めました。「桃太郎」と違って、有名な主題歌のようなものも無いですし。しかし改めて「竹取物語」の原作を読むと登場人物が多く、それぞれのエピソードもぎつり詰まっている。それゆえ、いかに折りたたみ式のマッサージ機を愛用して揮したアンドレアス・ヴォルフなど専属指揮者が5人いて、手分けして指揮しています。

中川 ● 多忙な生活を支える健康の秘訣は?

沼尻 ● 忙しくてもきちんと食べてきちんと寝ること。日本では鍼治療やマッサージに行って体の手入れができますが、ドイツには良いところがないので、日本から持つて行く思っています。

中川 ● 多忙な生活を支える健康の秘訣は?

沼尻 ● 横浜みなとみらいホールから横浜市とハノイ市の「パートナーシップ事業」として委嘱されたので、ベトナムで上演しても通じる日本の題材は何だろうと考えました。「桃太郎」や「浦島太郎」も候補でしたが、「竹取物語」ならかぐや姫が空へ上つていく場面がオペラ的に素敵だろとうと考えて決めました。「桃太郎」と違って、有名な主題歌のようなものも無いですし。

しかし改めて「竹取物語」の原作を読むと登場人物が多く、それぞれのエピソードもぎつり詰まっている。それゆえ、いかに簡略化したら、かなり長くなってしまいそうでした。

中川 ● まず横浜で上演されたのですね。沼尻 ● 2014年1月、みなとみらいホールで演奏会形式で初演をしました。今年2月にはベトナムのハノイ・オペラハウスで本名徹次さんの指揮で初の舞台上演があり、8月のびわ湖ホールでの上演が、日本では初めての舞台上演となります。

中川 ● 見どころを教えていただけますか?



「竹取物語」の制作発表より。右から沼尻さん、幸田浩子さん(主演:かぐや姫)、栗山昌良さん(演出)



昨年のKEIBUN第九公演(びわ湖ホール)より

中川 ● 滋賀県でクラシック音楽を盛り上げるために何が必要でしょうか？
 沼尻 ● 地元で創造することの大切にしてほしい。東京の企画会社の企画を買つては日本中が画一化してしまいます。自分たちの町の劇場や制作会社がきちんとオリジナルコンテンツを作つて提供することが重要です。

中川 ● ソリスト（独唱）にはどんな歌手が登場しますか？
 沼尻 ● ベテランから若手まで、オペラの舞台で一緒に仕事をしてきた歌手たちが出演します。「びわ湖ホール声楽アンサンブル」の出身者もいます。「第九」にはオペラティックな面も多くて、特に第4楽章最初のバリトンのソロは、例えばヴエルディのオペラで、王様が重々しく歌い出し、それを聴いた民衆がざわめく場面を思わせますよね。なので、オペラの経験の多い歌手が理想です。



地元で創造する個性的なコンテンツを大切にする

中川 ● 滋賀県でクラシック音楽を盛り上げるために何が必要でしょうか？

沼尻 ● 地元で創造することの大切にしてほしい。東京の企画会社の企画を買つては日本中が画一化してしまいます。自分たちの町の劇場や制作会社が、きちんとオリジナルコンテンツを作つて提供することが重要です。

仕事で日本各地に行き、さまざまなホテルに宿泊しますが、ホテルの厨房で地元の素材を一から調理するところがどんどん減っている。業務用食品のパックの封を切るのが若いコックの主な仕事です。これでは人が育たない。郊外の幹線道路沿いの風景も、日本中どこでも同じになりつつある。文化化が同じことをやつてしまつてはいけないと

思っています。地元で個性的なコンテンツを手

をかけて作れば、遠くからも人が来てくれるし、地元の人も出演できる。幸い、滋賀県

には何百年も続く長浜曳山まつりの子ども歌舞伎など、伝統的に文化的基盤があつ

ています。文化へのリスペクトもあるので、やりやすいと思います。それがなくて、「客が入ら

ぬ赤字の文化は不要」という暴論を言う

思います。親が子どもに文化を教えるのも大事だ

と思います。ニンジンのおしさを教えるのと同じように。

日本のクラシック音楽界では、残念ながら西洋の方が日本人より売れてしまう傾向があります。僕もリヒャルト・スマジーリみたいな名前に変えようかと思つたことが…ドイツ育ちのハーフだと思われたほうが券も売れるんじゃないかと

（笑）。びわ湖ホールの制作するオペラは、ほとんどが日本人キャストですが、レベル

は外来の中堅劇場にも引けを取らないので、ぜひ足を運んでみてください。文化も

「地産地消」の精神で地元産を大切にしているだけだと、つくる側としてはたいへんうれしいです。

中川 ● 本日はありがとうございました。12月26日の「KEIBUN第九」での指揮を

楽しみしております。



独自の地域文化を創造、発信するびわ湖ホール。
(びわこビジターズビューロー提供)

Information

SS席の先行販売が決定!! 素敵なお席をお早めにリザーブ

|| KEIBUN第九2015 || 12月26日(土)17:00開演 ■会場／びわ湖ホール・大ホール

指揮：沼尻竜典 管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団

独唱：中嶋彰子（ソプラノ）、澤村翔子（アルト）、二塚直紀（テノール）、須藤慎吾（バリトン）

4999 SS席 6,500円 限定90席 7月31日(金)必着締切 ※90名を超えた場合は抽選

※お申し込みは券末のハガキ・FAXのみ。※お席はお選びいただけません。

※SS席の位置は1H列～1M列の10番～24番となります。※S～C席の発売日は本誌8月号で発表いたします。

■お問い合わせ 077-526-0011

20歳以下
参加無料

※お一人2枚以上、本公演のチケット購入をご承諾の上、お申し込みください。

■募集定員／300名（パート別定員100名を超えた場合は抽選）※アルトはおかげさまで定員となりました。

■参加費／4768一般5,000円 25歳以下2,000円 20歳以下無料（年齢は12月26日現在）

■練習日程／詳細はKEIBUNホームページ参照 ■練習会場／しがぎんホール（滋賀銀行本店2階）

日本初の舞台上演決定！

■沼尻竜典オペラセレクション

■沼尻竜典作曲 歌劇『竹取物語』

（日本語上演・日本語字幕付）

8月8日(土)・8月9日(日)各14:00開演 完売御礼

■会場／びわ湖ホール・中ホール

■台本・作曲・指揮：沼尻竜典（びわ湖ホール芸術監督）

■演出：栗山昌良

■管弦楽：日本センチュリー交響楽団

■合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル

■出演：幸田浩子、清水良一、永井和子、与那城敬 他